



YLB-N164

ガーデン芝生バリカン

取扱説明書

家庭用

電源
コード式



目次

- 安全にご使用いただくために…………… 1
- 仕様…………… 2
- 各部の名称と付属品…………… 2
- 延長コードについて…………… 2
- 使用方法…………… 3
- 刈り込み作業…………… 3～4
- 保守と点検…………… 4
- ブレード(刃)の交換…………… 5
- トラブルの原因と対策…………… 6
- サービス・保証…………… 7

お客様へ

本製品は家庭用です。業務用には
お使いにならないでください。

延長コードは別売です

園芸用延長コード
10m (ECT-S710)
20m (ECT-S720)
をご使用ください



警告

安全のため 必ず この取扱説明書をよくお読みください。

本機の使用方法を誤りますと、ケガをするなど大変危険です。



使用上の注意

本製品は芝生用です。枝の剪定などにはご使用になれません。
また、芝生を刈り込む際、石や缶などの異物が無いかご確認の
上、ご使用ください。石などを噛むと本機が損傷するだけでな
く、思わぬケガの原因になります。

安全にご使用いただくために

このたびはガーデン芝生バリカン[YLB-N164]をお買上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、警告事項・注意事項を厳守して、安全に正しくご使用ください。またお読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保管しておいてください。



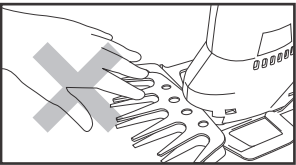
警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。



本体の刃部には絶対に手を触れたり、指を入れたりしないでください。

異物をかみ込んだときやどうしても刃部に触れる場合は、必ず電源プラグを抜いて、丈夫な手袋などを身に付けて作業してください。



- 本機は、輸送途中において振動、衝撃等により部品のユルミ、破損する事があります。使用前に必ず各部を確認してください。ユルミ、破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因となります。
 - 使用電源は銘板に表示してある電源で使用してください。(本機は100Vです。)
 - 次の作業の場合は、必ず電源プラグを抜いてから作業してください。
 - ・ブレード(刃)に挟まった石、木片、金属等の異物を取り除くとき。
 - ・ブレード(刃)に直接触れるとき。(刃の交換等)
 - ・調整、点検を行うとき。
 - ・本機を持ち運びするとき。
 - ・本機を使用しないとき、保管するとき。
 - 電源プラグを差し込んだ状態で、ブレード(刃)を手や足など身体に近づけないでください。
 - 草木や枝など、対象物を手に持って刈り込み作業をしないでください。けが、事故の原因となります。
 - 本機は電気を使用しますので、感電のおそれがあります。次の様な使用はしないでください。
 - ・雨の中での使用はしないでください。
 - ・雨上がりや散水直後の作業はしないでください。
 - ・雨の中に放置したり、本機を水洗いしないでください。
 - ・濡れた手では本機、電源プラグに触れないでください。
 - ・お子様や使用方法が分からない方には絶対に使用させないでください。
 - 本機が熱くなったり、異常が感じられた場合は直ちに使用をやめて、お買い求めの販売店、または商品問合せ先までご相談ください。
- ※お客様ご自身での修理、改造は絶対にしないでください。重大な事故の原因となります。



注意

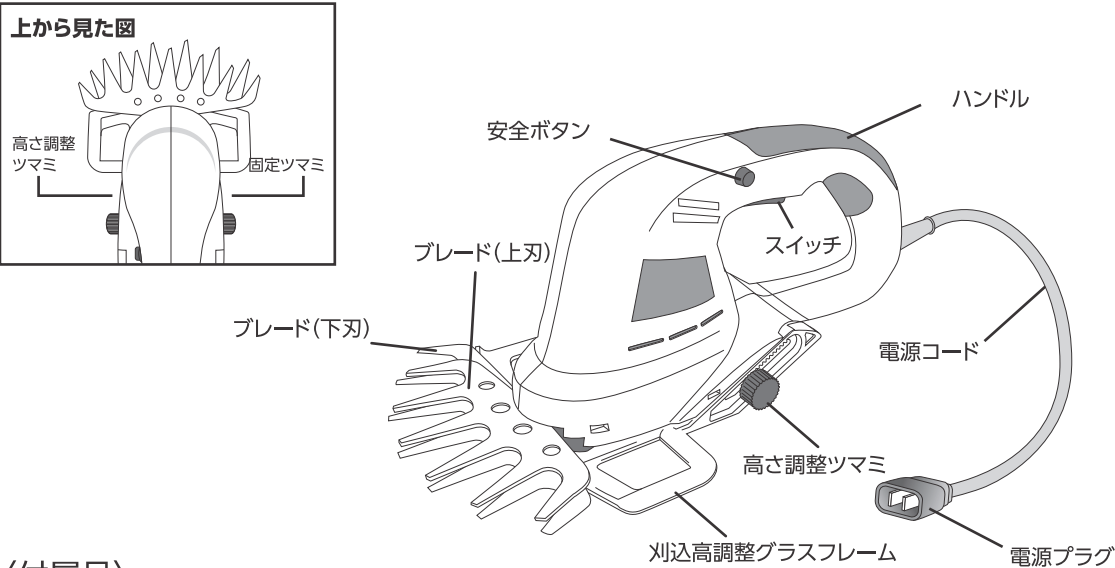
誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。

- 作業時は安全に注意し、作業に適した服装をしてください。だぶついた服や、滑りやすい靴は避け、手袋、保護メガネを装着してください。
- 安全の為に作業をする場所の石、木片、金属等の異物を取り除いてください。異物が残っていると、故障したり飛散した異物でけがをするおそれがあります。
- 本機で延長コードを切断しない様、注意して作業してください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たないで、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 万一電源コードや延長コードを傷つけたり、誤って切断した場合はスイッチを切って電源プラグを抜いてください。感電のおそれがあります。
- ブレード(刃)に欠け、ヒビなどの異常があったときは、使用を中止して新しいブレード(刃)に交換してください。切れ味が落ちるだけでなく、けがの原因となります。
- 本機を保管するときは、お子様の手の届かない場所に安全な状態で保管してください。
- 湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたる場所には保管しないでください。
- 本機を持ち運びするときや収納するときは、必ずブレードカバーを取り付けてください。ブレードカバーを装着しないと、事故の原因となり大変危険です。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。

仕様

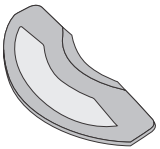
型番	YLB-N164	刈込高さ	約15~30mm
電圧	AC100V	刃の材質	特殊鋼、クロムコーティング
周波数	50/60Hz	本体寸法	幅 約160×奥行 約315×高さ 約142mm
消費電力	150W	本体重量	約1.2kg
電流	1.65A	絶縁方式	回 二重絶縁
無負荷振幅数	約1,300min ⁻¹	定格時間	30分
刈込幅	約160mm		

各部の名称と付属品

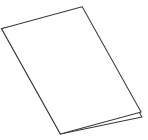


〈付属品〉

① ブレードカバー×1



② 取扱説明書(本書)



延長コードについて

- 別売りの園芸用延長コード10M(ECT-S710)もしくは20M(ECT-S720)をご使用ください。市販のものを使用する場合は十分な太さで出来るだけ短いコードをご使用ください。
- コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの関係(参考)

コードの太さ(導体公称断面積)	延長コードの長さ
0.75mm ²	10m
1.25mm ²	15m
2.0mm ²	20m

③ ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべてドラムから引き出してご使用ください。

使用方法



警告

電源プラグを延長コードに接続する時や延長コードを電源コンセントに差し込む前に、本機のスイッチが切れている事を確認してください。スイッチが入ったまま延長コードを電源コンセントに差し込むと不意に動き出し、重大な事故になる恐れがあります。又、使用後はスイッチが切れている事を確認して、延長コードを電源コンセントから抜いてください。

延長コードを切断しないように十分気をつけてください。誤って延長コードを傷つけたり、切断した場合は直ちに延長コードを電源コンセントから抜いてください。感電のおそれがあります。

スイッチの操作方法(図1)

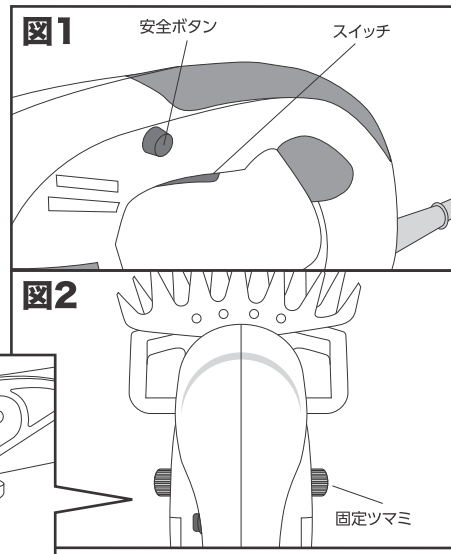
- ①本機は安全ボタン式になっています。始動させる際は安全ボタンを押しながらスイッチをしっかりと握ってください。
※周囲の安全を確認してからスイッチを入れてください。
※作業中は安全ボタンをはなしてスイッチのみでご使用いただけます。
- ②スイッチをはなすと止まります。



本機はスイッチを切ってもブレード(刃)はすぐには止まりません。ブレード(刃)に手などの身体を近づけないでください。

刈り込み高の調整(図2)

- ①本体を上から見て右の固定ツマミをゆるめます。
※完全にとらないでください。ゆるめる程度です。
- ②次に左の高さ調整ツマミでお好みの高さに回しながら合わせます(高さは15~30mmまで)。
- ③高さを決めた後、再び右の固定ツマミをしっかりと締めてご使用ください。



刈り込み作業



警告

- 刈り進む方向に手や足を出さないでください。重大なけがや事故の原因となります。
- 刈り込み作業をする場所に電気コードや針金などが無いことを確認してください。ブレード(刃)が電気コードや針金などに接触し、感電や漏電、故障のおそれがあります。
- 雨上がりや散水後など濡れた芝生や庭木の剪定には使用しないでください。感電のおそれがあります。
- スイッチを固定して使用しないでください。緊急時に本機が止まらず、重大事故につながる可能性があります。



注意

- 動きやすい服と滑りにくい靴を着用して作業をしてください。また長袖、長ズボン、保護メガネ、手袋等を必ず身に付けて作業をしてください。
- 本機のハンドルをしっかりと握ってください。しっかりと握っていないと、作業中に振動などで手から外れ、事故の原因となります。
- はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で作業をしないでください。事故の原因となります。
- 本機を持ち運ぶときにブレード(刃)でけがをすることがあります。本機を持ち運ぶときには必ず付属のブレードカバーを取り付けてください。
- 本機はスイッチを切ってもブレード(刃)はすぐに止まりません。ブレード(刃)に手などの身体を近づけないでください。



延長コードを本機で切断しないように十分気をつけてください。

芝生の刈り込み方法



警告 使用前に、芝生の中の石、ビン、木片、金属等の障害物を必ず取り除いてください。

- ①本体の安全ボタンを押しながら本体スイッチを引いて始動します。動き始めましたら、安全ボタンから指をはなしても大丈夫です。
 - ②本機を芝生の上において、ハンドルをしっかりと握って、滑らすようにゆっくりと前進させてください。(図3)
 - ③長く伸びた芝生は最初から短く刈り込みますと芝生を傷めます。順次日を置いて短くなる様に刈り込んでください。一回の刈り込みで刈り取る芝生の長さは10~20mmにおさえてください。
 - ④芝生の長さを15mmよりも短く刈ろうとして本機を傾斜させると、刃が地面の砂利や異物を噛み込み、故障の原因となります。(図4)
 - ⑤縁石や壁などのキワ刈りでは、ブレード(刃)の側面が縁石や壁などに当たらない様に約45度の角度を付けて斜めに刈り進めてください。(図5)
- ※ブレード(刃)の側面を縁石などに当てると、跳ね返りが生じて大変危険です。また、縁石や壁にキズがつく原因となります。
- ※枝や針金等をかみ込んでブレード(刃)が止まったときは、直ちにスイッチを切って電源プラグを抜いて異物を取り除いてください。硬いものを噛み込みますと、すり合わせが悪くなる場合があります。芝生などの刈り込みがしづらくなったときは新しいブレード(刃)に交換してください。(P5「ブレード(刃)の交換」参照)

図3

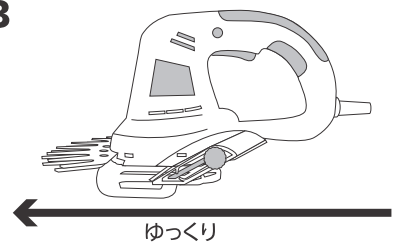


図4

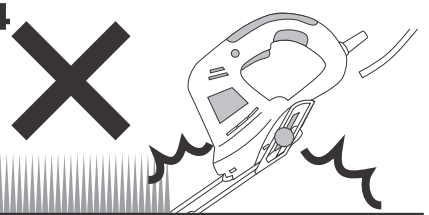
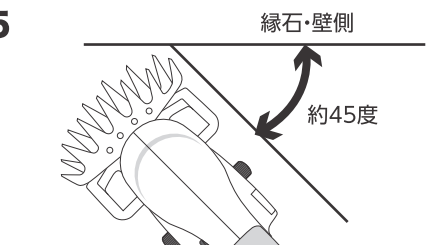


図5



保守と点検



警告

- お手入れときには、必ず丈夫な手袋を付けてけがをしない様に刃先等に気を付けておこなってください。
- 必ず電源プラグを抜いておこなってください。電源をつないだまま行いますと、機械が不意に動き出してけがや重大な事故の原因となります。
- 水を多く含んだ布で拭いたり、水洗いは絶対にしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因となります。
- 水分や草のしびなどがブレード(刃)についた状態で保管すると錆が発生する原因となります。作業後は、柔らかめのブラシなどでブレード(刃)の両面の汚れを落とし、布で拭き取ってから機械油や潤滑油を十分に差してブレードカバーを取り付けて保管してください。

- ①使用後には丈夫な手袋を着用してブレード(刃)や本体についた異物や汚れ、樹液等を固めのブラシと柔らかい布でよく取り除いてください。
- ②プラスチック部分の汚れがひどいときは、薄めの台所用中性洗剤を含ませた布で拭いてください。
※ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油などは、絶対に使用しないでください。
- ③掃除後は良く乾燥させてください。
- ④ブレード(刃)にブラシや布を使用し、機械油(ミシン油、自転車油等)を刃先等に塗布してください。
※危険ですので、必ず丈夫な手袋を着用してください。
- ⑤乾燥していて高温にならず、直射日光が当たらない場所で、子供の手の届かない鍵の掛けられる保管庫などの安全な場所に保管してください。
- ⑥収納するときは、電源を抜いて必ずブレードカバーを取り付けて収納してください。

ブレード(刃)の交換



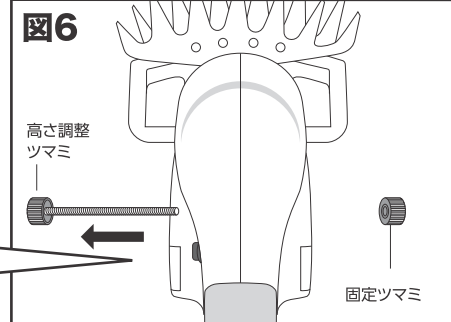
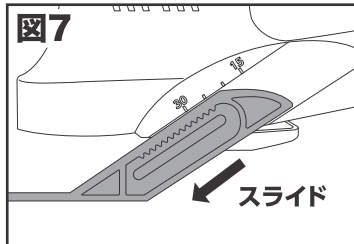
警告

- 交換時には、必ず丈夫な手袋を付けてけがをしない様に刃先等に気を付けておこなってください。
- 必ず電源プラグを抜いておこなってください。電源をつないだまま行いますと、機械が不意に動き出してけがや重大な事故の原因となります。

刈り込んだ芝の切り口が悪くなったり、芝生をかみ込む様になりましたらブレード(刃)の交換時期です。次の手順で新しいブレード(刃)と交換してください。

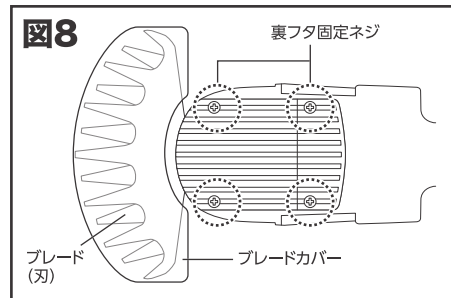
刈込高調整グラスフレームの外し方

- ①本体を上から見て右の固定ツマミを外します。(図6)
- ②次に左の高さ調整ツマミを引き抜き、刈込高調整グラスフレームを前面下にスライドさせ、両端部分を手で少し広げながら取り外します。(図7)
- ③元に戻す際は、逆の順序で戻してください。



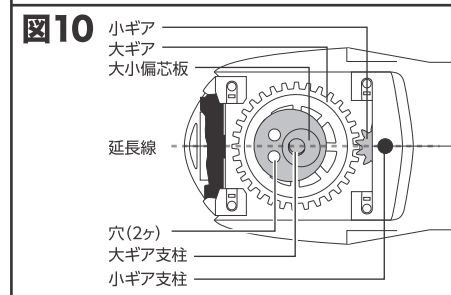
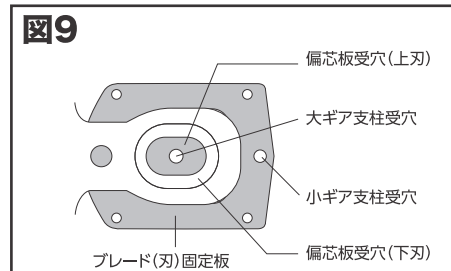
ブレード(刃)の外し方

- ①けがをするおそれがありますので、事前にブレードカバーをブレード(刃)に取り付けてください。
- ②本機を裏返しにしてください。
- ③市販のドライバーを使用して、裏フタ固定ネジ(4本)を取り外し、裏フタを外してください。(図8)
- ④ブレード(刃)と黒いブレード(刃)固定板は一体に組み付けられていますので、そのまま持ち上げてブレード(刃)を外してください。



ブレード(刃)の取り付け方

- ①新しいブレード(刃)にブレードカバーを取り付けてください。
- ②新しいブレード(刃)の上刃、下刃の偏芯板受穴を均等に重なる様に調整してください。(図9)
- ③ブレード(刃)固定板に開いている大ギア支柱受穴を、ブレード(刃)の上刃、下刃の偏芯板受穴の中心に来るように調整します。(図9)
- ④本体側の大ギアを回し、偏芯板に開いている2個の穴の中心を、大小ギア支柱を結んだ線に合わせます。(図10)
- ⑤グリスで滑りますので、注意して作業してください。
- ⑥大ギアが固くて手で回らない場合はラジオペンチ(市販品)を偏芯板に開いている2個の穴に入れて回してください。
- ⑦ブレード(刃)固定板を裏返して、大小ギア支柱受穴に本体の大小ギア支柱をそれぞれ差し込んでください。
- ⑧裏フタをブレード固定板にかぶせ、先ほど外した裏フタ固定ネジ(4本)で確実に固定してください。
- ⑨裏フタをかぶせるときに、ブレード(刃)固定板が動かないように気を付けてください。
- ⑩本体ギア部と偏芯板に付いているグリスは拭き取らないでください。もし異物が混入していたときは、グリスを取り除いて新しいグリスを充填してください。



トラブルの原因と対策

症状	原因	対策
動かない	電源プラグが抜けていませんか。	しっかりプラグを差し込んでください。またコンセントに電気が来ているか確認してください。
	延長コードが切れたり、断線していませんか。	延長コードを取り替えてください。
	ブレード(刃)に異物が挟まっていませんか。	電源コードを抜き、異物を取り除いてください。
使用時に異音がでた	ブレード(刃)に異物が挟まっていませんか。	電源コードを抜き、異物を取り除いてください。
	ブレード(刃)が欠けたり、変形していませんか。	電源コードを抜き、P5「ブレード(刃)の交換」を参考に新しい刃に交換してください。
	ブレード(刃)に異物が付着していませんか。	電源コードを抜き、異物を取り除いてください。
芝がうまく刈れない	ブレード(刃)が欠けたり、変形していませんか。	電源コードを抜き、P5「ブレード(刃)の交換」を参考に新しい刃に交換してください。
	ブレード(刃)の寿命ではありませんか。	電源コードを抜き、P5「ブレード(刃)の交換」を参考に新しい刃に交換してください。
	刈り進むスピードが速すぎませんか。	滑らせる様にゆっくり刈ってください。
	長く伸びた芝を刈っていませんか。	P4「芝生の刈り込み方法」を参考に刈り込み作業をしてください。
	モーターに負荷をかけ過ぎていませんか。	ブレード(刃)押し付けるのではなく、ブレード(刃)の先で少しずつ刈り込むように作業してください。

表中に記載されていない故障など、ご不明な点は、お買い求めの販売店、または商品問合せ先までご相談ください。